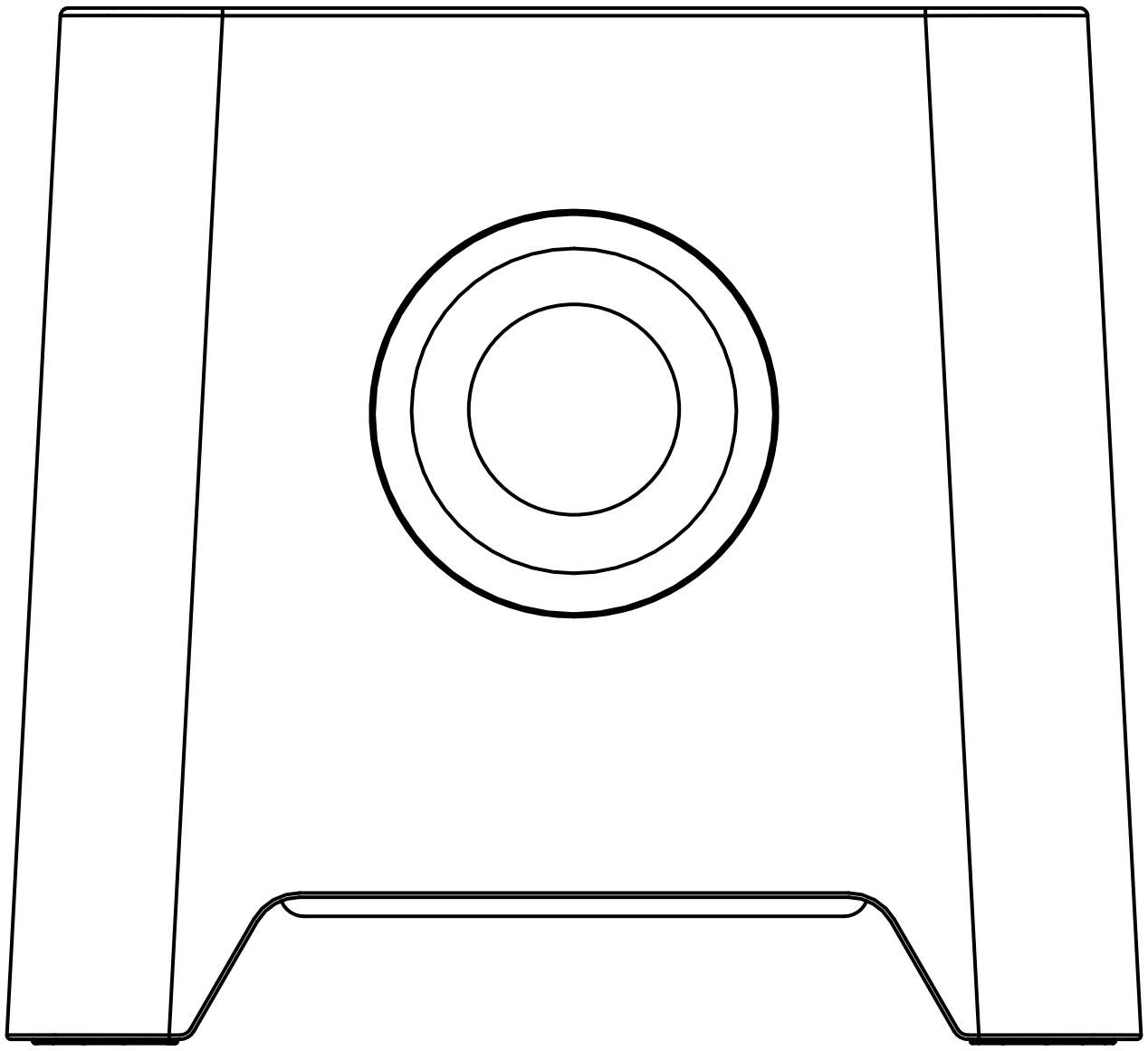
CR6S-X

POWERED FLOOR-STANDING SUBWOOFER

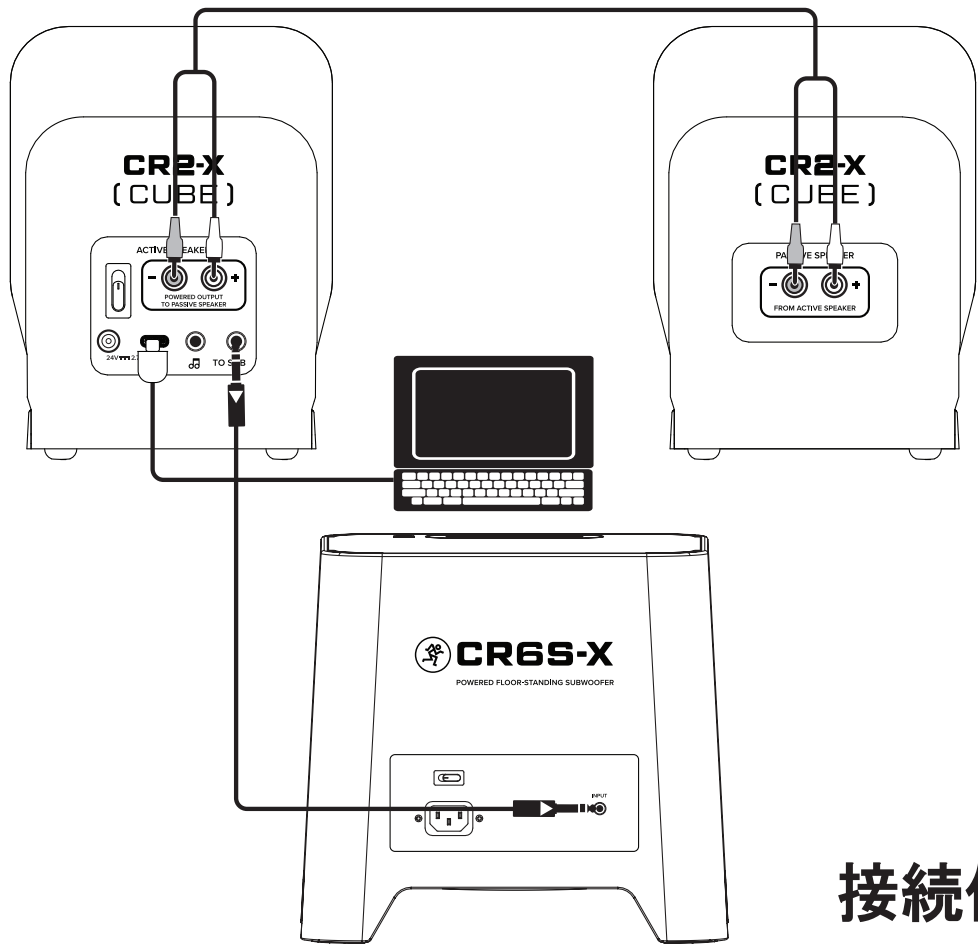
クイックスタートガイド



www.mackie-jp.com

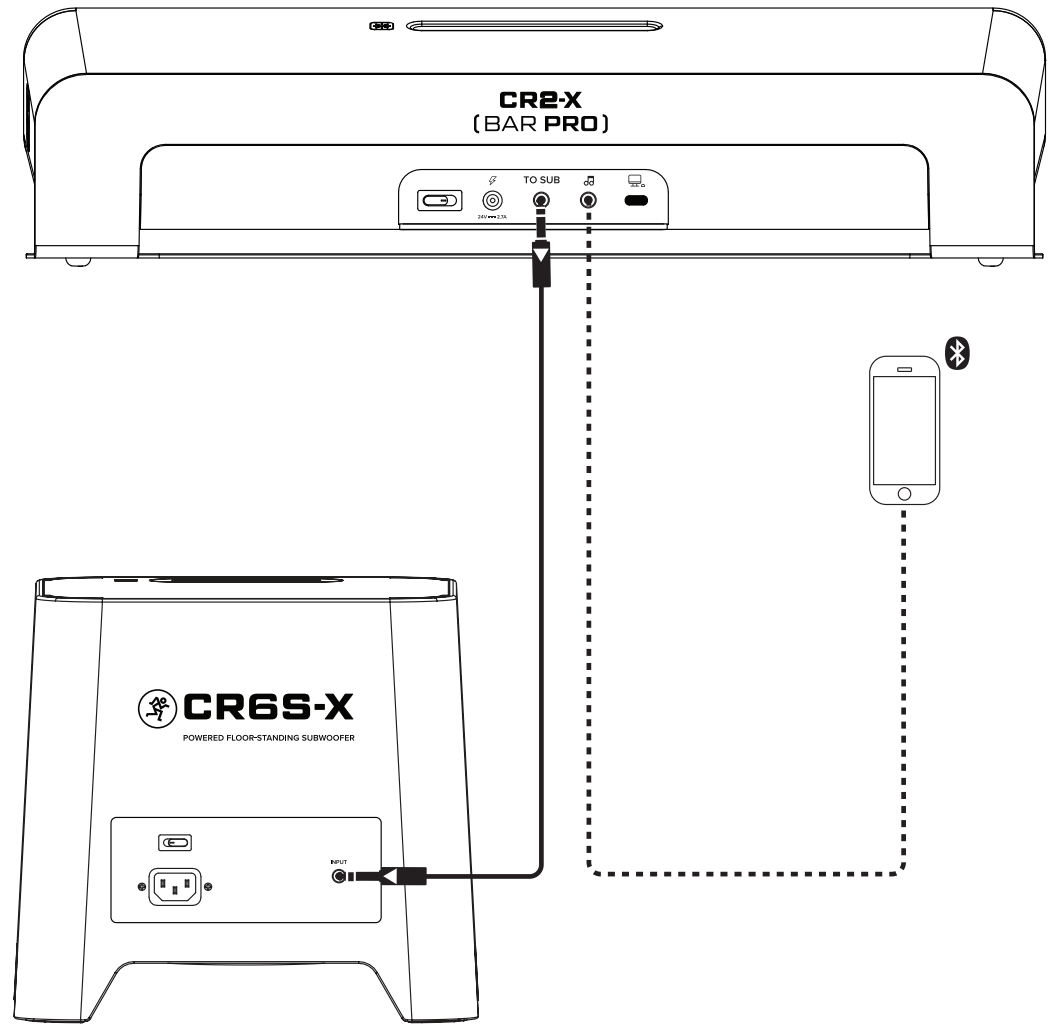
接続例1

CR6S-Xサブウーファー1台とステレオスピーカーの接続

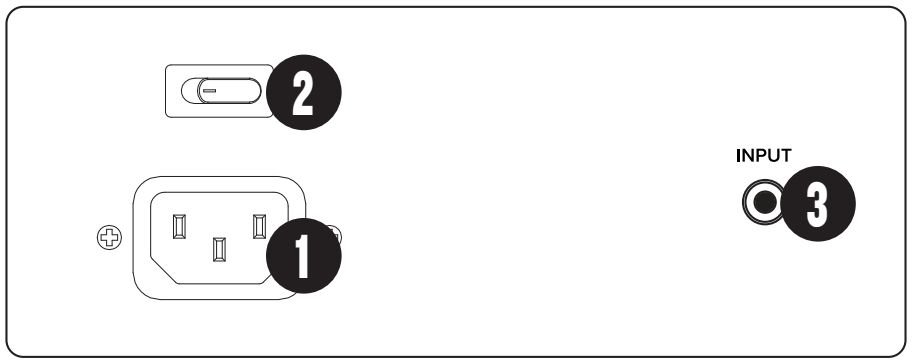


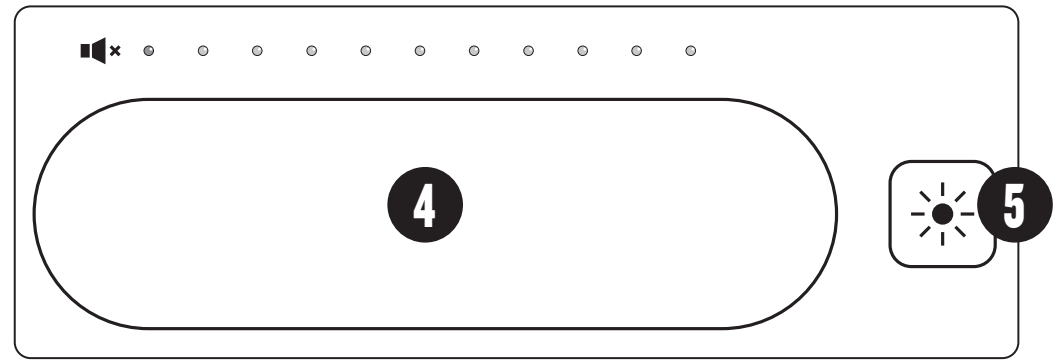
接続例2

Bluetooth ステレオ・スピーカーとCR6S-Xサブウーファーの接続



CR6S-X Powered Floor-Standing Subwoofer





CR6S-X 詳細

1. **電源コネクター**　付属の**AC**電源コードをこの**IEC**ジャックに接続します。付属の**AC**電源コード以外は使用しないでください。
2. **電源スイッチ**　**CR6S-X**の電源のオン/オフを切り替えます。
3. **入力端子**　スタジオモニターからのステレオライン出力をここに接続します。この入力端子はステレオミニ入力です。
4. **ボリューム**　タップまたはスライドして、全体の出力レベルを調整します。**LED**が音量レベルを表示します。このバーの左端をタップすると出力がミュートされます。
5. **LEDカラーセレクター**　このボタンを押すと本体四隅の**LED**の色を変更することができます。

まずはじめに

1. マニュアルの重要な安全注意事項を読み、理解してください。
   https://mackie.com/img/file_resources/CR6S-X_OM.pdf
2. 接続機器すべての機器の電源がオフになっているのを確認したのち、ケーブルの接続を開始します。ボリュームコントロールが完全にオフになっていることを確認してください。
3. ステレオ音源をスタジオモニターの入力に接続し、スタジオモニターのステレオライン出力端子と**CR6S-X**の入力端子を接続してください。
4. 電源ケーブルのメスプラグを**CR6S-X**の電源ジャックに接続して下さい。電源ケーブルのオスプラグを電源コンセントにしっかりと差し込みます。同様に同時に使用するスタジオモニターの電源もしっかりと電源コンセントに差し込んでください。
5. スタジオモニターに接続したミュージックプレーヤー等の電源をオン
6. サブウーファー**CR6S-X**の電源をオン
7. スタジオモニタースピーカーの電源をオン
8. ミュージックプレーヤー等で音源を再生し、適切な音量になるまでボリュームを上げてください

CR6S-X Powered Floor-Standing Subwoofer

製品仕様

MODEL	CR6S-X
周波数特性 (-10 dB)	40 – 200 Hz
最大音圧レベルSPL Peak	105 dB
定格出力	60 w peak
ダイナミックレンジ	≥90 dB
SN比	≥90 dB
電源仕様	100 – 240V ~ 50 / 60 Hz
寸法 (H × W × D)	255 x 280 x 280 mm
重量	3.4 kg

予告なく仕様変更する場合がございます